

令和6年度 第8回崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和6年12月17日（火）午後6時30分～午後8時00分

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委 員> 板倉 しをり 伊藤 貴史 稲本 泰孝 井上 眞一
太田 眞由美 柘植 伸夫 戸田 博基 永井 靖美
永山 慎二 服部 啓二 林本 基 藤井 康博
藤村 匡泰 本多 鋭孝 松山 純成 山内 由美子
<欠 席> 木村 友浩
<交流館> 近藤かおる（崇化館交流館長）
<事務局> 杉浦 智文（拳母事務所長）
田嶋 優俊（地域支援課担当長） 青木剛（地域支援課主任主査）

■次 第

- 1 開会 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 崇化館防災フェアの振り返り
- 4 課題候補選定の論点整理Ⅲ
(1) 第7回地域会議グループ討議発表の確認
- 5 連絡事項

■議 事（要約）

3 崇化館防災フェアの振り返り

主催者である崇化館地区コミュニティ会議（崇化館交流館館長）より事業報告

4 課題候補選定の論点整理Ⅲ

- (1) 第7回地域会議グループ討議発表の確認

前回の各グループの発表を横断的に類型化してまとめた項目について議論を行った。前回と同じグループに分かれて、公園整備と世代間交流を意識して地域の意見を吸い上げることにについてブレインストーミング形式で実施した。

主な内容は別紙のとおり。

5 連絡事項

- ・令和7年度地域会議開催予定について協議し、4月は開催しないこととした。
- ・地域会議委員任期2年の1年目であるが諸事情による交代の意向があれば次回会議までに申し出るようお願いした。

《今後の予定》

●令和6年度 第9回崇化館地域会議

日 時：令和7年1月21日（火）午後6時30分～
場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室

会長 この地域会議も第8回ということで6年度と7年度で完成すると思っているが意見も多数出ており掘り下げと積み上げを行いたくグループでの議論をお願いする。

11月30日に防災フェアを開催した。これからの崇化館地区の防災計画の参考になったと思う。区長会からは重要なのはそれぞれの区民に対してもっと啓発をしていかなければならないということで地域会議での取組を求める意見もあった。

【主な意見】

＜グループワーク＞

《第1グループ発表》

- ・地域会議も第8回ということで、事業の見えるような形、成果というか結果が求められてくると思うが、いきなり事業はこれというより長い目で見て1年から3年かけてでも大事なことをやっていけたらよい。
- ・意見聴取の目的は、崇化館地域が住みやすいまちづくりをしていくために興味がある人動ける人というのをもっと掘り起こしていく、集めていくということ。
- ・対象者は老若男女、忌憚のない意見を挙げてくれる方、このまちをすこしでも良くするためにはどんなことをしたらいいですかと問いかけたときに声を上げてくれるような方全員が対象者になる。
- ・意見聴取の方法は、広く意見を出してもらいたいということで、最初に各自治区の回覧板とホームページで地域会議が作ったチラシを紹介したらどうか。
- ・しかし、崇化館地域会議を知っている人自体がゼロに近いので、実は崇化館地域会議という場があってこの崇化館地域のためにこんな活動を毎月やっているのです、具体的な事業を起こそうと議論をしていますということもちゃんと紹介して、そういう場があるので、広く皆さんからも本当に何か意見があれば小さな意見でもいいですから意見を下さいというのを匿名方式で回覧板でお願いしたらどうかと考える。
- ・出された意見が地域会議に集約されるとして匿名方式で行えば多分まあまあな意見が集まるのではないかな。
- ・意見を集めたら、次にこれだけの意見が集まりましたということを改めて回覧でお知らせして、前回の地域会議で意見を募集した結果、これだけの意見、延べ何件、それが防災のことだと何件ぐらい、そんなデータを紹介するという2段構えで実施する。
- ・2段構えの後段では、具体的にこういったテーマについてこれだけ意見が沢山出てきているから皆で話す場を作ろうと、ここで初めてイベントを開催するという流れで、崇化館地域まちづくり討論会なのか名称は未定だが、こうしたイベントを開催して対象者を集めるというのはどうか。
- ・イベントのチラシに書くことは崇化館地域会議では当然、皆さんの意見を協議するし、地域会議自体も集まった意見の中から事業化できるものであれば事業化していきたいということが聴取した意見の利用方法となる。

《第2グループ発表》

- ・意見聴取の目的はこの地域に住んでいる人たちに自分たちの住んでいる地域に何を求めているのか、どんな不安があるのかといった点を聞ければいいと思う。安心、安全、住みよいまちを考えたときに不安があるとしたら何かといったことだと思う。
- ・こどもの遊び場や公園整備といった点も、あの公園はちょっと暗くて遊びにくいといった具体的な不安や要望などの求めるものを聴取できればと思う。
- ・このエリアは元城、朝日、拳母とそれぞれ小学校の特徴とか、地域の特色とかこれだけ多様だと活動も異なるので、その地域間交流の中で崇化館という区域で何ができるか、どんな新しいことができるのか、またそれを含めた世代間交流でこどもからお年寄りまでどんな交流ができるのかということが聴きたい。この地域は崇化館という藩校があったという歴史もあるので、単に人を集めようとして歓楽街にすれば色んな人が集まってくるかもしれないが、そうではなくて昔から伝わっている文化とか伝統という大事なものを残して次に繋げていくといったそんなことを具体的に意見が聴取できたらと思う。
- ・意見聴取の対象はこの地域に住んでいて意見が言える人すべてを対象にすることと、外から見ると潤っているような印象の中心市街地だが、本当はどうなのかということも聴けるといいのかなと思う。
- ・意見聴取の方法としては、例えばそれぞれが所属している団体からの意見聴取を行うとか、学校やこども園の送迎時の世間話程度のところから出たい話を吸い上げたり、自治区、交流館、学校等のホームページを利用してアンケートを行ってはどうか。
- ・著名な人を呼んで講演会を兼ねて大討論会みたいなことで集ってもらって、そこでまちづくりってこんなふうだよとか、こんなまちって楽しいよねといった講演を聞いた後に意見を貰う。
- ・こどもたちを集めるようなキャラクターを呼んだりコンサートを開催する。それもなんとなくまちづくりや防災に絡めてアンケートを行う。
- ・学校のこどもに関することであればそれぞれの学校単位でアンケートを取ったり自治区のホームページで市外の人たちの意見を取るとか、スマホをうまく利用しながらプレミアム商品券みたいなポイントを付与するなど何かメリットがあればアンケートに答えてくれるのではないかなと思う。
- ・意見の利用方法は求められたものを反映して施設を新しくつくるようなハード面も重要であるが一番大切なのは多分新しく来た人たち、以前からいる人たちがこの地域に愛着を抱くような気持ちを持っていただくということであり、上手くソフト面で心に訴えられるような利用方法を考えるということ。
- ・例えば子育てに不安がある人たちにはそれぞれの地域に子育てサロンができると、そこにお年寄りが集まって一緒に子育てをするという世代間交流もできれば子育てもできるのではないかな。
- ・少し具体的な話になるが、安心して集まれるそんな場所が地域ごとにできる、それが幼児であったり小学生だったり中学生だったりみんなが集まってその場所場所で世代間交流ができるようになってくると多分この地域に居る人も新しい人も先にある色々な役職を受けてくれるようになるのではないかなと思う。
- ・愛着を持ってくれるような形でまとめることができ、その後に地域会議として予算を使ったイベントを開催するとか物を作るとかできたらいいと思う。

《第3グループ発表》

- ・第1、第2グループと同じような意見になっているが、第3グループは特に公園整備だとか環境整備について具体的に意見があった。意見聴取の対象者は、今回だと学校とか公園の話が出て、そこを利用する方すべてが対象になるという話になった。
- ・意見の聴取方法も全員を集めても出っぱなしになってしまう懸念がある。意見を言ったら回答を出すという形が取りたいので、公園を利用している方にその場で、こういうところがいい、まずいという意見を聞きたい。誰が聞くかというところまでは話ができなかったが、その場で利用している方に生の意見を聞きそれをもって議論を重ねたうえでその人に直接回答するといった、聞いたからにはちゃんと回答まで含めた対応をするそういう流れを作っていかなければならないだろうという話もあった。
- ・聴取方法の中で大きいのはメリットがないと中々集まりにくいということもあるので、具体的な話として景品で釣るというのも確かにあったが、それはそれできっかけとしては面白いが、それだけだと一回限りでそれを目的に集まる人たちではその後続かないのでまず導入はそれでいいかもしれないが、そこから百人いても十人とか五人しか意識の高い人はいないかもしれないが、まずはそういう人を見つける、見つけないと始まらないのでちゃんと動けるリーダーとなってやっていける意識の高い人を見つける方法としては面白いと思うので、そういう人を見つけてそこからどんどん輪を広げていくという流れを作っていきたいという話が出ている。
- ・利用方法についてはやはりこの崇化館地域というのを盛り上げてきたいという共通の思いはあった。本当に地域愛というのはあったので何かしらそういう良い方法、回していける方法があればということろだが、今、具体的な話までは行きついていない。
- ・意識の高い人をどんどん見つけていって、その人たちを巻き込みながら、それでやはり若い世代も子育てが忙しいというのは確かに意見として多いが、そうではないということもあるのではないと思う。加えて家にこもって子育てしている以外にもこういう苦労があるのでないかということもあるので、コミュニティが一つあれば集まるだろうしそこで共通な友達ができて輪がどんどん広がっていくという流れも面白いと思うので、先ほどサロンという話もあったがちょっとしたそういう場、環境整備の中で公園でこどもが遊ぶのであれば遊びに来た親たちの交流ができるとかそういう仕掛け等ができると面白いんじゃないかという意見があった。

次回以降の議論の進め方

会長 今回の論点整理は先回のグループ討議内容の掘り下げである。課題の決定作業ではないということをご承知おきいただきたい。事業の具体化に必要な対策や共働の形の議論には踏み込めていない段階だと思われるのでもう少し掘り下げを行っていきたいと考える。

その意味で、地域会議の活動としての取組、地域課題解決事業について、例えば平芝自治区でも新たな地域のために動いていただけるような若い人を欲している。

どこの自治区でも同じだと思うが、そういう観点や、あるいは色々な視点にたった課題とか解決対策だとかを見い出していくようなことを行っていききたいと思う。

地域会議に出ていただける方は色々な方がみえるので、それぞれのご意見、本日も貴重なご意見を拝聴し、やはりこの会議の意味はあるなと思っている。